

## 外国旅行報告ー初めてのサーバス旅行ー

ドイツ・チェコ・ポーランド自転車旅行

九州支部会員 鹿児島県在住

旅行というより知人訪問。それが、初めてのサーバストラベルを経験して感じたことでした。

2015年7月14日、私は一人の男の子と一緒にフランクフルトの空港に降り立ちました。これからドイツに留学する彼を送り届けるためです。彼は私の経営するオルタナティブスクール「森の学校楠学園」に小学部・中学部と7年間通った卒業生。釣りと写真と料理が好きで包丁研ぎまでこなすという才能にあふれた少年で、世界的な視野を身につけてほしいという親御さんの希望もあり留学を決意しました。

楠学園は独特なカリキュラムを組んでおり、キャンプや自転車旅に出掛けたり生徒だけで修学旅行を企画して実現したりしています。また海外から長期滞在のゲストが来られることも多く、異なるアイデンティティを持った方と接する機会が多いのが特徴です。そんな中で育った彼ですから、新しく暮らすことになるこの国でもなるべく地元の方と交流し視野を広げてもらいたいもの。

当初は彼を送り届けた後に単独でサーバス旅行を試みようと考えていたのですが、ホストさんにご相談したところ快く彼の滞在も引き受けてくださいましたので一緒におじゃますることができました。

予定より半時間遅れで到着した私たちを、ハイデルベルクのホストであるEさんは満面の笑みと共に迎えてくださいました。右も左も分からない異国の地。そこに、自分たちの名前を知っていて待っていてくれる人がいる。それはなんと心強いことなのでしょう。移動と時差と不安で張り詰めていた彼の緊張の糸もふっと緩んだのを感じました。

結局そちらにはなんと5泊もお世話になりました。4泊目以降はホテルに移る予定だったのですが、奥様のC（名前の略、以後同じ記述）さんよりご提案をいただいたのです。Cさんはご自身もサーバス旅行を何度もされていて、お互いを知るのに2泊では短いと感じていらっしゃるとのこと。今回は週末にスイスで行われるサーバスの交流会に参加されるご予約がありましたので3泊だけということだったのですが、ご夫婦がご不在でもお子さん方でホスト役を務めることができると判断されてのご提案でした。

この子どもたちがまた素敵なのです。17歳と10歳のご兄弟なのですが、「よく眠れた?」「今日はどうだった?」などとよく話し掛けてくれて、そのホスピタリティーに感動します。これからこの街で暮らすことになる彼にとっては、ひととき心強い味方になってくれることなのでしょう。ちなみにドイツの方は、いろいろな方とフレンドリーに話をされると感じます。友達のお母さん、カフェでたまたま隣に座った方、お買い物をする時の店員さんなど。素敵な文化ですね。



さて、今回私はハイデルベルクばかりでなく計6軒のホストさんのところを訪問することができました。2軒目からは単独旅行。ミュンヘンにて自転車を購入し、チェコのリーニェまで漕いで行ったのです。途中途中の街で2泊ずつ、つまり自転車を漕ぐ日と交流する日が交互にくるという感じで街から街をつないでゆきました。

サーバスのホストリストには興味のあることが記してありますので、近くに複数のホストさんが

いらっしやる時には「biking」「nature」「alternative」などのキーワードを探してコンタクトを取りました。この項目が設定してあるのはお互いにとってとてもいいと実感します。なぜなら、趣味や嗜好を同じくする方とからすぐに打ち解けられ、共感する場面も多いからです。

また事前にメールでやりとりをしたことでミュンヘンではモンテッソーリの学校を、デッゲンドルフでは森のようちえんを見ることができましたし、モースバーグではオーガニックのお店やお子さんの通う幼稚園を案内していただくことができました。嬉しかったのは、どれも日常生活の中にある場所だということです。実は以前にもドイツで森のようちえんを訪問したことがあるのですが、公的な訪問だったためきちんと準備したものを見せていただく形になっていました。いわば、学校でいうところの「学校訪問」のようなものですね。一通りは分かっていても形式的なことや表面的なことが多くなることは否めません。その点、知っている人が連れてきた訪問者という立場ですと相手も取り繕うことなく普段の姿を見せてくださいます。これは予想外の嬉しい出来事でした。

今回、1ヶ月の旅行のうち半分はサーバスのホストさんにお世話になったことになりました。出発前にはそんなにたくさんお世話になっていいのかしらという思いもありましたが、旅行を終えたいま、思い切ってコンタクトを取ってみて本当によかったと感じています。わずか二泊三日の滞在ではありますが、それぞれに大変充実した時間となりました。つながりはきっとこれからも続いていくはず…。

お世話になった分は、これから鹿児島を訪ねてこられるトラベラーさんや多くの若者たちにお返ししていく所存です。それと、信頼できる友人をお誘いして鹿児島のホストさんを増やしていければ嬉しいです。尚、今回の旅行にあたっては九州支部のみなさま方に大変お世話になりました。この場をお借りして深く感謝の意を表しこの旅行記を閉じたいと思います。ありがとうございました。



九州支部長の追記：報告者のオルタナティブスクールについて詳しく知りたい方はネットで「森の学校楠学園」で検索してみてください。ヒットします。